

11月9日～15日は 秋の火災予防週間です

防災安全課消防・安全係 ☎73-9109

空気が乾燥し、火災が発生しやすくなる時期です。火の取り扱いには、十分注意してください。
火災への注意喚起のため、期間中毎日20時に消防サイレン(小郡市役所に設置)を鳴らします。また、市内全域で消防ポンプ車による啓発活動が行われます。

全国で
火災が
発生！

リチウムイオン電池に ご注意ください

リチウムイオン電池は、スマートフォンやモバイルバッテリー、電子たばこ、携帯型扇風機など、私たちの身の回りの多くの製品に使われています。軽量・コンパクトで大変便利なものですが、誤った取り扱いや処分をすると火災の原因になることがあります。

購入時に注意すること

●電池の品質を確認

電気用品安全法に基づく「PSEマーク」が付いているか確認しましょう。

●正しい規格の充電器を準備する

基本的にはケーブルも含め互換性がある純正のものを使いましょう。充電は目の届く範囲で行い、就寝中は避けましょう。

使用・保管するときに注意すること

●高温の場所に放置しない

高温の車内などに放置すると危険です。また、使用中・充電中の過熱にも注意しましょう。

●強い衝撃を加えない

落下などで強い衝撃を与えると発火のきっかけになります。ズボンのポケットに入れたまま座るなど圧迫するのも危険です。

9月～12月はリチウムイオン電池による火災防止強化キャンペーン期間です

特に11月はリチウムイオン電池による火災防止月間とし、環境省ホームページで詳しく紹介しています



リチウムイオン電池をごみとして 捨てることはできません

生活環境課リサイクル推進係(南別館1階) ☎73-9104

使用済みのリチウムイオン電池などの「小型充電式電池」は、生活環境課や回収協力店で回収しています。端子の部分にテープを貼って出してください。

なお、膨張・液漏れ・破損が見られる場合は生活環境課に持ち込んでください。また、機器本体から取り外せない場合は生活環境課にお問い合わせください。

回収協力店一覧
一般社団法人
JBRC



小郡市
ごみの
出し方



リチウムイオン電池を 不燃物の袋で出すと危険です！

強い衝撃や圧力で発火・破裂の恐れがあります。リチウムイオン電池・ニッケル水素電池・ニッケルカドミウム電池はごみに出さず、生活環境課などにお持ちください。



田んぼが地域を守る

三沢区域の「田んぼダム」の取組

【農】農業振興課農村環境係 ☎73・9100

近年、全国的に集中豪雨が増え、河川の氾濫や浸水被害などのリスクが高まっています。

三沢区域では令和7年度に「田んぼダム」の取組を始めました。田んぼダムに取り組むのは、令和6年度に開始した花立区域に続いて2区域目です。

田んぼダムとは

「田んぼダム」は、水田の排水マスに排水量を調整するためのV字型のセキ板を設置し、大雨が降ったときに一時的に雨水を水田に溜めることで、河川への急激な流入を抑える仕組みです。普段は農業用の水田として活用されている場所を、大雨時には治水ダムのような働きをさせることで、地域の防災に役立てることができます。

田んぼダムに取り組む地域では、大雨が降ったとき、田んぼダムが一時的に雨水を受け止めることで下流域の川の水位上昇が抑えられる効果があります。

地域全体で豪雨被害を軽減する取組のひとつとして、田んぼダムが注目されています。

三沢区域の取り組み

三沢区域では令和7年度、賛同した農家の皆さんが約11ヘクタールの水田で田んぼダムに取り組みました。

取組に協力している農家の皆さんは「田んぼで地域の役に立てるなら嬉しい。手間もそれほどかからず、営農への影響もない」と語ります。

市では今後、農家の皆さんのご協力をいただきながら田んぼダムの対象地域の拡大を図りたいと考えています。



三沢区域で田んぼダムに取り組む皆さん